

2019 年度実施概要

学校名

島根県益田市立安田小学校

採択活動名

みつめなおそう 安田の海 つたえつづけよう 海の宝

取り組みの概要

学校がある地域は山、海がある自然に恵まれた地域である。しかし、子供たちの生活の中では、その恵みを喜んだり、その美しさやふるさとの良さを感じたりする時間は、極めて少ないのが現状である。そこで、ふるさとの自然に目を向け、自分たちの住んでいる地域の良さや課題をあえて実体験させていく必要があると考え、3年間継続して取り組んできた。その中では、実際の漁船に乗船しながら漁師の方の話を聞いたり、海の生物について学んだり（砂ガニ、魚類、桜貝や蛤等）、海に関する地域の実情を考えさせたり（漂着物調査【地域の津田海岸と益田市内の高津川河口西側に広がる持石海岸での漂着物調査の比較】）するとともに、海を大切にしている方々に出会わせ、海を大切にしている方々に出会わせ、海への思いや行動、生き方についても考えさせるような学びを目指した。

活動中の写真

デジタルデータにて2～3枚の添付をお願いします。



実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

1. 安田の海の生物を調べよう ～船に乗ってみよう 海の生物にふれよう～

- ・海に親しみ、漁協や漁師の方々と親しくなり、船に乗せていただく。
- ・砂浜や岸辺で遊びながら、海の生物に気付かせる。
- ・NPO 法人アンダンテ 2 1 や漁協の方々に協力していただき、安田の海に生息する生き物を学ぶ。

- ・生き物だけでなく、海の水質や砂浜、漁港にある漂着物やごみにも関心を向ける。
- ・海から自分たちのまちを眺めることから、さらに、海に対する関心を深める。
- ・益田市の特産である、「鴨島蛤」の生態や漁獲方法等を調べる。
- ・海に親しんだ感想を交流し合う。

2. 安田の海辺はきれいかどうか調べよう ～漂着物調査から～

- ・海岸にある漂着物を実際に分別することを通して、海に関する現実問題にも関心を持たせる。
- ・砂浜にある貝殻を収集し、NPO 法人アンダンテ 2 1 や漁協の方々に教えてもらいながら、貝の名称を調べる。
- ・地域の海岸と、同じ益田市内にある持石海岸との漂着物を比較し、類似点や相違点に気付く。
- ・海を美しく保とうとされている方々の話を聞いたり、海の美化活動に参加したりして海に関わる方々の思いを感じさせる。
- ・自分たちにできる海のための行動を考える。

3. きれいな安田の海を守っていくために、自分たちができることを考えよう

- ・これまで学んできたことをまとめる。
- ・プラスチックごみを減らせるよにポスターを作成し、掲示する。
- ・「鴨島蛤」に絵付けをし、蛤貝アートに出品する。